

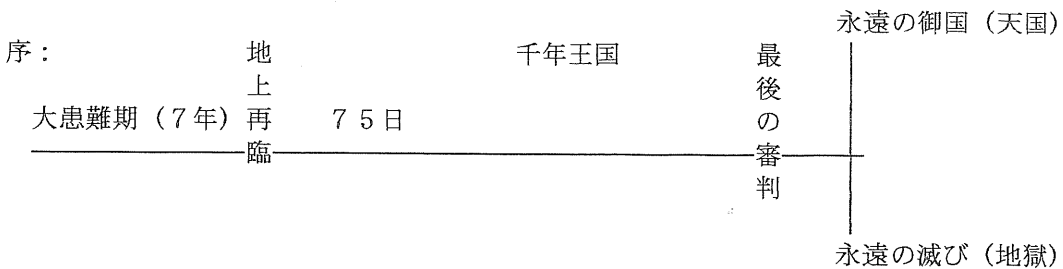
千年王国（メシア王国）とは

2026年9月6日

詩篇 15 篇 1～5 節 (千年王国の住民の特徴)
24 篇 1～6 節 (王国の確立)

イザヤ書 2章2～4節 (世界の平和：紛争や戦争はない)
11章6～9節 (自然界の回復：エデンの園)
65章17～25節

ミカ書 4章1～5節 (エルサレム：異邦人の関心の的)



I. 千年王国に入る人 (国民)

(1) 第一の復活をした人

①イエス・キリスト

②新約の聖徒たち 教会

③患難期の二人の証人

④旧約の聖徒たち

⑤患難期の殉教者

①②③はすでに復活

④⑤は移行期の75日のうちに復活

(2)患難期を生き延びた信仰者たち（自然体のまま、生きたまま）／ユダヤ人、異邦人

(3)特徴：全き者として歩み、義を行い、真実を語る
誓ったことは変えない
金銭をふさわしく管理する（不正をしない）

神と正しい関係を持つ（きよい手、澄んだ心、偽りの誓いをしない）
（神を慕い求める）

II. 千年王国の特徴

(1)世界的平和（国家間や民族間の争いはなくなる、主が彼らをさばく、戦争を忘れる

(2)人間と動物、動物と動物の間にも平和：エデンの状態を回復
共存：みな草食となる

Ⅲ. イザヤ書 65章17～25節

(1)新しい天と地 = 千年王国 ≠ 天の御国
黙示録 21～22章

人間の墮落によって呪われた
現在の天と地の修復

(2)千年王国の住民たちは神との平和を享受する

(3)千年王国の生と死

死者が出る：時間の経過のうちに、自然体のまま入った異邦人信者もユダヤ人信者も子どもが生まれる（原罪がある）（罪を犯す可能性あり）

救いの方：信仰によって（主の死と復活）、恵みによって

信じるために1000年与えられる

幼児の死はない、不信者のままだと百歳で死ぬ／信じる人は千年王国で存続
千年王国の信者の復活はない（∵彼らは死なないから）死ぬのは不信者だけ
千年王国でユダヤ人の不信者なし、皆百歳までにメシアを信じる

エレミヤ 31・31～34

(4)平和と繁栄の時代

建設、植樹

労働は苦役でなく喜び

動物界にも平和

Ⅳ. ミカ書 4章1～5節 （1～3節＝イザヤ 2・2～4）

主の家の山（エルサレム）が世界中の異邦人の関心の的となる

シオンから主のみおしえが出る

平和の支配により戦争はなくなる

個人的な平和と繁栄を享受

すべての人類がイスラエルの神の御名によって従順に歩むようになる

V. 結び

(1)千年王国と天の御国は別のもの

旧約聖書の預言は千年王国がピーク

天国の預言は新約の黙示録 21～22章にのみある

千年王国は現世界の修復版 新天新地は完全な新創造

(2)サタンが千年間閉じ込められているので、罪の誘惑は減少、しかし、千年王国には
自然人として誕生する人たちがいて、彼等は原罪あり 信仰と恵みによる救い必要

(3)千年王国は平和と繁栄と共存の時代

完全ではないが、永遠の御国を映す

(4)来週は千年王国の統治について学びます